



# 竜北通信

甲斐市立竜王北中学校  
学校だより  
発行 校長 小林 大  
平成30年度第7号  
2018.9.28

## 大成功の紫龍祭！

第27回学園祭（紫龍祭）は9月7日（金）8日（土）、大きな成果を残して無事に終了いたしました。両日共に多くの保護者、地域、教育関係者の方々に足を運んでいただき、感謝いたします。今年は体育部門が天候の関係で、午前中に一部競技種目の順番を入れ替えるなどの措置を取らせていただき、御迷惑をおかけいたしました。生徒達が夏休み前から準備してきたことが存分に発揮できたことに、まずはホッといたします。また、今年の紫龍祭から多くの感動をもらいました。感動の源を次の4点にまとめてみました。

### ① 生徒たちが目的をもって、一生懸命に取り組む

今年の生徒会のテーマは「Connection of love」（愛のつながり）でした。このテーマは生徒の決意表明や感想発表など、いろいろな場面で触れられていて、全校生徒で十分共有されたものになっていると感じました。また、準備段階から本番まで、手を抜いている生徒がほとんどおらず、全員が一生懸命取り組みに参加している様子がみられました。



開祭式での生徒会本部



全校制作



展示部門



1年演劇



2年演劇



3年演劇

### ② 全体的に生徒-教師-観客の「一体感」が感じられる

保護者の方からの感想アンケートにもありましたが、竜王北中学校には教師も含めて「家族的なあたたかさ」が溢れています。みんなで盛り上げる、時には教師も普段とは別の一面を見せて、生徒達から拍手喝采をあげる。保護者の方も温かく息子、娘の、または孫の活躍を見守る。そんな一体化した温かさが、北中の伝統なのかもしれません。



マーチング演奏



ソーラン隊演舞



むかで競走

### ③ 仲間への思いやりが随所に感じられる

「仲間への思いやり」は、学園祭のような大きなイベントを通じて身に付けてもらいたい最上位の目的です。どのようなことでも得意・苦手があります。例えば走るのが苦手な生徒に対してクラスのみんなが「頑張れ-」と温かい声援を送っている場面は、1位をとることと同等の価値があると思います。

**みんなでやることに  
意義がある！**



**頑張った仲間をねぎらい  
頑張る仲間を応援する  
竜北生の素晴らしさ！**



### ④ ルールやマナーを守って、許される範囲の中で楽しむ

吹奏楽部の発表の最後に、生徒全員がステージ前に集まって曲に合わせて手拍子をしたり、はねたりする場面がありました。よく興奮が高まるとルールやマナーを逸脱する行為をする生徒が出てしまうことがありますが、本校の生徒達は曲が終わると、スーッと自分の席に戻って静かになっていました。また、閉祭式が延びてしまい、下校が30分延びてしまったので、教師が巡回を行いました。普段通りに落ち着いて下校する様子が見られました。「ルールやマナーを守り」楽しむことができるのは集団の質が高いからだと思います。

**感謝の気持ちを  
込めて演奏  
しました！**



**ルールやマナー  
を守って盛り  
上がる**



紫龍祭は生徒会最大行事です。同時に普段の学校生活の集大成とも言えます。すべてが100点というわけではありませんが、生徒達はいろいろな場面で普段から行っている「あいさつ」「整理整頓」「清掃」「合唱」という北中が誇る4大文化を見せてくれたと思います。

しかし大切なことは、この紫龍祭で得た「感動」「粘り強く取り組むこと」「仲間との協力や思いやり」「周りへの感謝」等を次の歩みへつなげることです。3年生の教達検(10/2)、吹奏楽部の西関東大会(10/7)、1・2年生の新人戦(10/11、13)、中間テスト(10/19)とじっくり計画的に取り組むことが求められます。仲間と共に、さらにいっそう「愛のつながり」を深めつつ、実りの秋を迎えられるように頑張りましょう！